

福島工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	産業経済史	
科目基礎情報							
科目番号	0115			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	都市システム工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	配布プリントを教科書の代わりとする。						
担当教員	川崎 俊郎						
到達目標							
①日本の近代化について経済史を中心に理解する。 ②近・現代史における諸外国と日本の関係を理解する ③統計数値を利用して歴史的事実を説明できるようにする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
基礎的能力	歴史的事実を踏まえて、複数の事実間の関係を説明できる。			歴史的事実について、その概要を説明できる。		歴史的事実について、その概要を説明できない。	
専門的能力	歴史的事実に関する資料を踏まえて、複数の事実間の関係を説明できる。			歴史的事実に関する資料の説明ができる。		歴史的事実に関する資料の説明ができない。	
汎用的能力	歴史的事実の因果関係を理解したうえで、それを説明できる。			歴史的事実の因果関係を理解できる。		歴史的事実の因果関係を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A)							
教育方法等							
概要	日本の近代化について、その前提となる江戸時代の概観も踏まえつつ、明治期以降の資本主義化・国際関係の変遷・国民生活の変容を教授する。講義内容の理解を深めるために、統計資料の分析と読解も行う。						
授業の進め方・方法	中間試験は実施しない。期末試験は50分の試験を実施する。 定期試験の成績を100%として評価し、60点以上を合格とする。 授業は配布プリントを中心に進めるので、なくさずに必ずファイルする。						
注意点	課題・レポートは指示された期限・様式などを厳守する。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	前近代化の日本		近代経済成長,18～19世紀の日本と欧米		
		2週	明治維新と殖産興業		明治維新、殖産興業政策		
		3週	産業化の時代 1		日本の産業革命、日清戦争、日露戦争		
		4週	産業化の時代 2		国際比較でみた日本の産業化		
		5週	第一次世界大戦と大戦景気		第一次世界大戦が与えた影響		
		6週	二重構造		重化学工業化と二重構造		
		7週	世界恐慌		日本の貿易構造、近隣貧窮化政策		
	8週	第二次世界大戦		統制経済、大東亜共栄圏の経済			
	2ndQ	9週	戦後復興		戦後改革、GATT・IMF体制と日本		
		10週	朝鮮戦争から高度経済成長へ		朝鮮特需、戦後の国際関係と貿易		
		11週	高度経済成長 1		高度経済成長の特色、所得倍増計画		
		12週	高度経済成長 2		高度経済成長の影響、石油危機とドルショック		
		13週	安定成長期		冷戦構造と経済成長、アジア諸国との関係変化		
		14週	経済統計からみた日本の近代化		通時的な統計資料による授業理解		
		15週	まとめ		近代経済成長後の日本		
16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。		3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	事実をもとに論理や考察を展開できる。		3	前14
				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。		3	前14
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
汎用的能力	20	0	0	0	0	0	20